

平成28年度博物館実習生製作企画展示

【1班】

① タイトル 食べられる、身近な生き物

② 趣旨

今現在日本の食料自給率は39%であり食料のほとんどを輸入に頼っている。もし、世界の人口が増え続け地球規模で飢饉が発生し食料を十分輸入することができなくなってしまったら、私達は身近な自然の中で食べ物を探さなければならない。そこで食料になるものの現在はあまり食べられていない生き物を紹介することで、身近な自然に興味を持ってもらうとともに、日本の水田をとりまく生態系の保全について考えるきっかけとしてもらう。

【2班】

① タイトル 謎の組織 キャッチ

② 趣旨

キャッチ結合組織を通じ、それを持つ棘皮動物について知ってもらうことを展示の目的とする。キャッチ結合組織は、棘皮動物にのみ存在する特殊な組織である。この組織は、外から与えられた刺激の強さに応じてかたさや形を変えることができる。本展では、キャッチ結合組織の特徴を説明し、同時に棘皮動物を紹介する。海の無い群馬県だからこそ、海の生き物として、特に動物として特殊な方向に進化した棘皮動物とはどのような動物群なのか紹介したい。

【3班】

① ちょこっと自然さんぽ

② 趣旨

今回の展示では、博物館周辺の散歩マップを作成し、「自然に触れる」ことへの第一歩としてまず館の近辺を散歩してもらうことを目的とする。最近の人々は、ゲーム機器の発達などから外に出る機会が減っている。太陽の光を浴び、自然の風を感じることで今までになかった刺激を味わえるのではないか。とはいえ、単に外に出ればいいというものではないため、この展示を通して自然に目を向けてもらいたい。展示を見た後、来館者に館の外で散歩をしてもらうという参加型展示を考えている。自分たちでルートを回り、生物を発見し、自然の楽しさを感じてもらう。

博物館実習企画展示と展示解説の様子



1班 企画展示



2班 企画展示



3班 企画展示



展示解説の様子